

(法第28条第1項)

平成28年度の事業報告書

NPO 法人犬と猫のためのライフポート

1 事業の成果

①の事業では、千葉県・茨城県・福井県・静岡県・山梨県・船橋市・柏市の7自治体の保健所から、犬 557 頭、猫 654 頭の合計 1211 頭を引き取り保護した。飼育管理効率の指標である、保護から譲渡までの平均滞在日数は、犬 32 日、猫 67 日であった。また保護後の死亡率は犬 0.5%、猫 5.4%であった。

②の事業では犬 531 頭、猫 616 頭の合計 1147 頭を新しい飼い主に譲渡した。 ※本年度以前に保護した動物を含む。

③の事業では、幼齢不妊手術に関するホームページの訪問者数はのべ 6 千人、飼育やしつけに関するホームページの訪問者数はのべ 14 万人であった。

④の事業では施設に保護した犬 512 頭、猫 612 頭と、外来の犬 1 頭、猫 119 頭の合計 1244 頭に不妊手術を実施した。 ※本年度以前に保護した動物を含む。

⑤の事業では、全事業の合計ホームページ訪問者数はのべ約 76 万人であった。

⑥の事業では、保険の募集に必要な資格の取得、保険内容の研修などを実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
①行政施設で殺処分される犬猫を引き取り保護・飼育する施設（アニマルシェルター）を運営する事業	保健所や愛護センターなどの行政施設で殺処分直前の犬猫を施設に保護して、譲渡のための健康管理やしつけ等を行う。 また、譲渡が困難な犬猫については、施設で生涯飼育する。	随時	法人事務所	11 名	千葉県、茨城県、福井県、静岡県、山梨県、船橋市、柏市の 7 自治体。
②行政施設から引き取った犬猫に不妊手術を施し、新しい飼育者へ譲渡する事業	前記事業で保護した犬猫たちに不妊手術を施し、新しい飼い主に譲渡する。	随時	法人事務所、横浜市、川崎市	8 名	犬猫の飼育希望者のべ 1211 家族。

③幼齢避妊去勢手術の普及と犬猫の適正な飼育を啓発する事業	団体ホームページで幼齢不妊手術についての情報提供や啓発を行う。	随時	法人事務所	1名	不特定多数のホームページ訪問者のべ約14万人。
④幼齢避妊去勢手術を主たる目的とした動物病院事業	団体が保護中の犬猫の不妊手術および、保護団体や個人が保護する犬猫を対象に、幼齢不妊手術外来を提供する動物病院を運営する。	随時	法人事務所附属の動物病院	5名	犬猫合計1244頭に不妊手術を実施した。
⑤この法人の特定非営利活動に係る事業に関する情報提供・サービス事業	主にインターネットを通じて、前記事業すべてに対する情報発信を行う。	随時	法人事務所	2名	不特定多数のホームページ訪問者のべ約76万人。※③の事業を含む

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数
⑥損害保険代理業	必要な資格の取得、保険内容の研修などを実施した。	随時	法人事務所	2

以上

2017年5月20日

NPO 法人犬と猫のためのライフポート  
2016年度事業報告書（参考資料）

いつも当団体活動をご支援くださり誠にありがとうございます。行政機関へ提出する定型の事業報告書のみでは、皆様にお届けするメッセージとして不十分なため、参考資料として本事業報告書を併載いたします。

<犬と猫の保護と譲渡について>

犬	2014年度			2015年度			2016年度			目標
	上半期	下半期	合計	上半期	下半期	合計	上半期	下半期	合計	
受入	314	258	572	292	254	546	267	290	557	
譲渡	272	241	513	270	267	537	248	283	531	600
死亡	48	32	80	16	1	17	0	3	3	
死亡率	15%	12%	14%	5%	0.3%	3%	0%	1%	0.5%	10%
滞在日数			43日			37日			32日	40日

犬については全国的に殺処分が減少していることもあり、受入と譲渡は例年並みとなり、目標の600頭には達しませんでした。しかし保護した子たちの多くに良いご縁があり、531頭を譲渡しました。また、前年度に引き続き、行政機関の飼育環境改善により、保護した犬の感染症による死亡が激減し、死亡率は0.5%となりました。当初目標としていた滞在日数40日以下も達成することができました。

猫	2014年度			2015年度			2016年度			目標
	上半期	下半期	合計	上半期	下半期	合計	上半期	下半期	合計	
受入	621	172	793	496	175	681	517	137	654	
譲渡	245	365	610	333	302	635	322	294	616	900
死亡	173	15	188	61	1	62	32	3	37	
死亡率	28%	9%	24%	12%	0.6%	9%	6%	4%	5.4%	20%
滞在日数			94日			58日			67日	45日

猫については譲渡 616 頭、死亡率 5.4%、滞在日数 67 日と、目標には大きく及ばない結果となってしまいました。直接的な原因は、依然として十分な人員の確保を行えておらず、保健所からの保護がピークを迎える 5 月～7 月の飼育能力が大きく不足していたことです。

犬猫合計譲渡数は 1147 頭と、年間目標の 1500 頭には大きく及ばない結果となりましたが、これまでに得た飼育管理や人員育成のノウハウを元に、来年度以降より良い活動を行って参ります。

### **<現場組織の改変について>**

フラットな現場組織づくりは予定通り進んでいます。

慣れない仕事に取り組む機会が増えてスタッフは苦勞していますが、そんな中でも活躍の場が広がるスタッフも出始めています。人事に関わることも多いので詳細はご報告できませんが、より良い組織づくり、そしてより良い結果のために引き続き進めて参ります。

また組織体制に関係なく、人員確保の課題が顕著化しています。特にライフポートでは猫の保護ピークが春先に大きく偏っており、一年の救命数にも大きく影響するのですが、安定的に人員が確保できていないことで飼育能力にも影響がでています。

### **<幹部職員の募集について>**

募集開始以降、数名の方にお会いする機会があり、その後 1 名を採用しました。将来活躍してもらうために試行錯誤しながら今後も進めて参ります。

### **<施設の増改築と環境改善について>**

おかげさまで 9 月には新設棟が完成いたしました。3 月には新館の稼働を開始し、併せて施設全体のレイアウト見直しを開始しました。これらにより、動物の収容能力を 1.5 倍に増やし、成犬・成猫の住環境も改善できる見込みです。来春以降も順次改善を実施していく予定です。

### **<成犬・成猫の譲渡促進について>**

成猫については、今年もふれあいスペースを設けることでの多くの譲渡につなげることができました。同様に成犬スペースのレイアウト変更も大方針が決定しました。4月から順次実施し、最終的には目標である成犬譲渡で実績を挙げたい考えです。

#### **<外来不妊手術について>**

120頭の外来不妊手術を実施し目標の100頭を達成することができました。しかし一方で、希望者多数で受入ができないことも散見されるようになりました。来年度以降はより多くの外来手術を受け入れ、犬猫保護の助けになるように対応を検討中です。

#### **<コンテンツの充実について>**

ライフポートは早い時期からインターネットの可能性に着目して活動に取り入れてきました。以前はパソコンでウェブサイトを見る方がほとんどでしたが、2013年頃からスマホ利用者が急増し、2015年にはパソコン/スマホが逆転。今ではスマホが主流になりました。こうした時代の流れに合わせてウェブサイト全体のスマホ対応を行いました。11月には、皆様に見ていただく機会が多い「ミルクのみの子猫の育て方」をリニューアル公開しました。今後も当団体のコンテンツが犬猫を飼う方にとって少しでも役に立てば幸いです。

#### **<ペット保険代理業について>**

ペット保険の代理店になり、保険加入者を募集する試みをスタートしました。まだ数件の加入にとどまっていますが、里親様から保険内容について質問を受けることも徐々に増え、保険の当事者として考える機会を得ることができました。飼い主さんと犬猫とのより良い生活のために今後も継続いたします。

以上が2016年度事業計画に対する活動報告です。  
今後とも皆様のご支援・ご声援をよろしくお願い申し上げます。

NPO 法人犬と猫のためのライフポート  
理事長 稲葉友治